



2021年3月期第3四半期決算説明会資料
2021/2/2

免責事項

- 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2021年2月2日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第3四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	17
04	APPENDIX	・・・	41

core assets

AI ENGINE

国内屈指の分析・コンテンツ自動生成エンジン



CROWD INPUT

大規模なユーザーによる投稿・閲覧データ



BIG DATA

国内外の金融経済企業情報



MEDIA

当社のコアアセットである、業界屈指のAIエンジンを活用した自動生成技術と国内最大規模のクラウドインプットを活用したコンセンサス情報生成技術の両輪により高い競争力を維持

SOLUTION

メディア事業で培った知見をB2B（B2B2Cを含む）にも応用。コアアセットで生成される各種コンテンツ・情報に加え、豊富な金融経済企業情報を活用し、金融機関をメインにソリューションサービスを提供

business segment

MEDIA

月間UU数

≒ **900万人**

月間訪問ユーザー数

≒ **2,600万人**

独自性の高い投資家向け情報サイトを
国内最大規模で展開

株式市場への注目向上から
若年層を中心にユーザー増が加速

SOLUTION

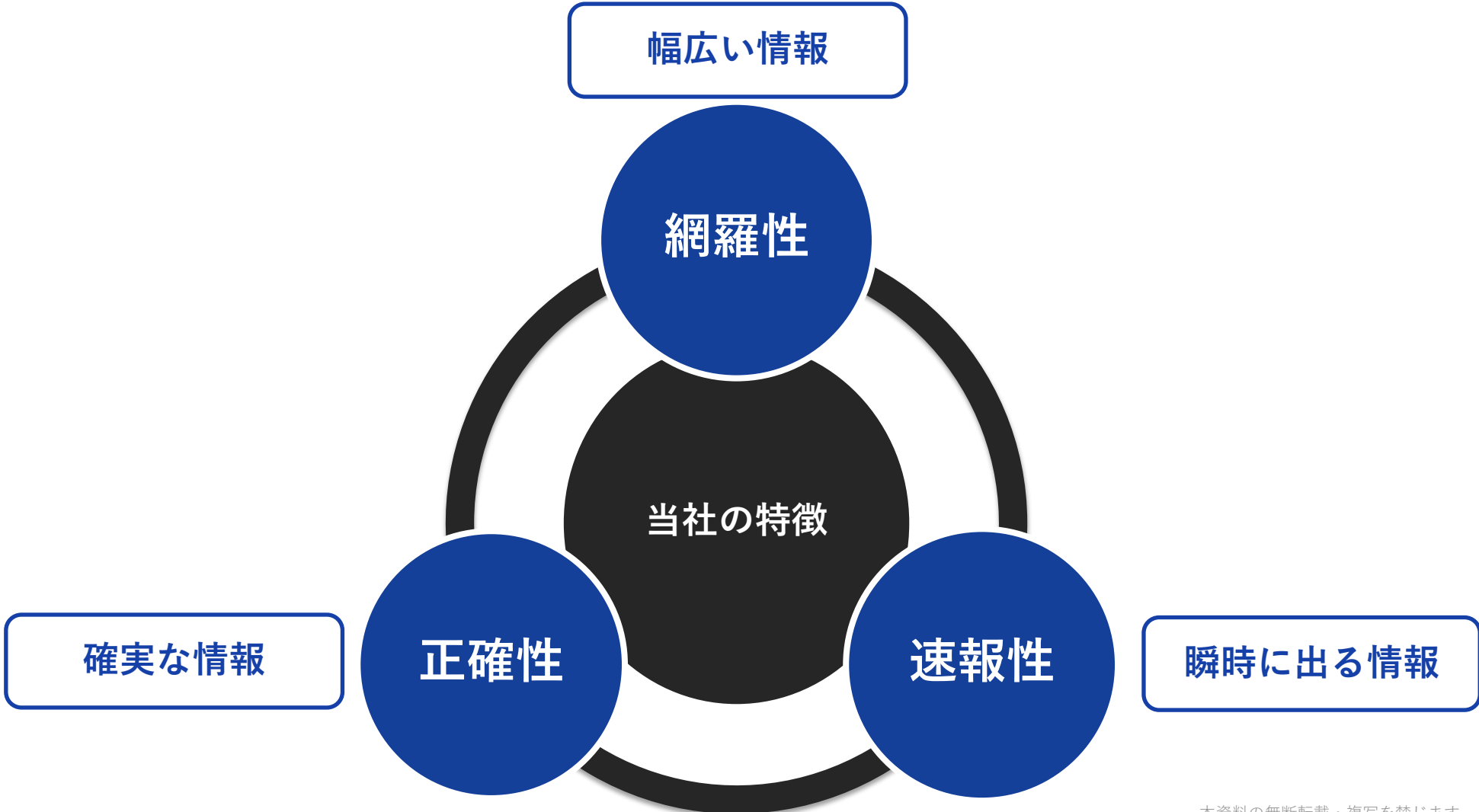
取引会社数

≒ **400社**

様々な金融商品の分野で、
主に金融機関向けに情報サービスを提供

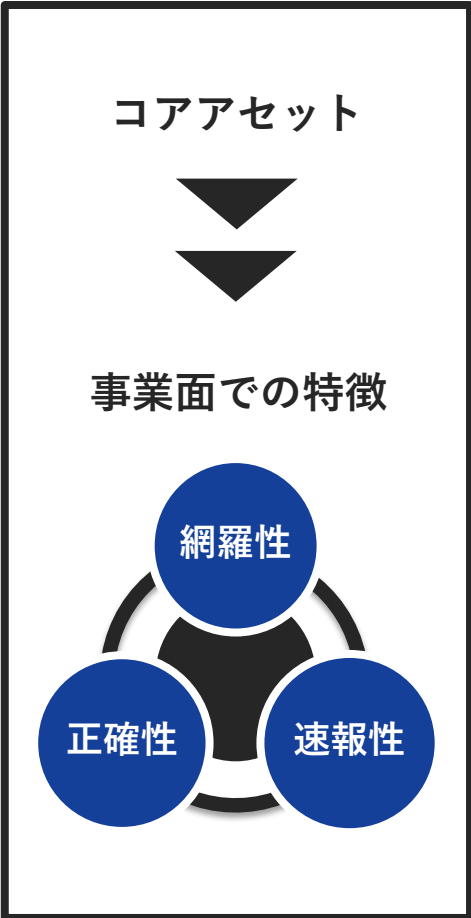
従前の顧客層に加え、
地銀・保険・不動産会社、
総合証券や運用会社を新たな顧客層に

strength in service



strength in business

業績面での特徴



再現性

売上高の80%をストック型収入で構成しながら成長

効率性

増収により利益率が向上する効率的なモデル

拡張性

独自の情報技術は金融に留まらず、他分野にも応用

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第3四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	17
04	APPENDIX	・・・	41

earnings results

売上高 6 割増 営業利益 8 割増

(百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
	(単体)	(連結)	(連結)	前期比
売上高	1,419	1,723	2,754	+59.8%
営業利益	140	217	389	+78.9%
営業利益率	9.9%	12.6%	14.2%	+1.6ポイント
経常利益	130	212	371	+74.7%
親会社帰属四半期純利益	111	140	182	+30.1%
EBITDA	309	442	759	+71.4%

注1. 2019年3月期第3四半期は連結子会社を有していません。

注2. 2019年3月期第3四半期数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第3四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

注3. 2020年3月期第3四半期末にProp Tech plus(株)を連結子会社化しておりますが、当該第3四半期は貸借対照表のみを連結し損益計算書は連結していないため、個別数値を記載しております。

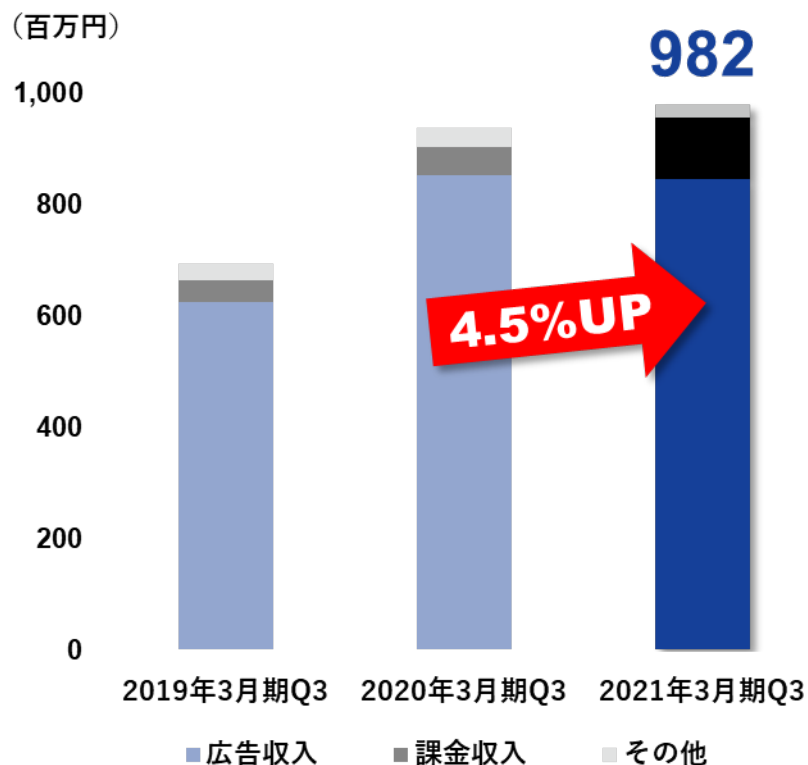
本資料の無断転載・複写を禁じます

Copyright MINKABU THE INFONOID, Inc.

activities - by segments

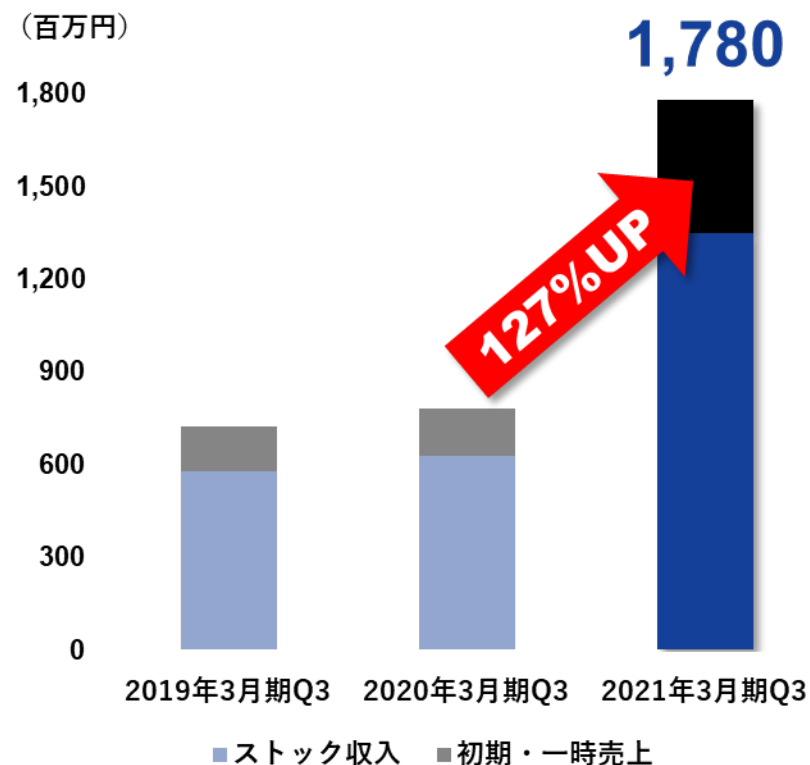
MEDIA

課金収入の拡大により、売上高は通期で前年比同等の計画に対して上振れ傾向



SOLUTION

ストック収入の増加と新規導入に加え、PT+の寄与により、売上高は前年比約2.3倍に



注1. 2019年3月期第3四半期は連結子会社を有していないため個別数値を記載しております。

注2. 2020年3月期第3四半期末にProp Tech plus(株)を連結子会社化しておりますが、当該第3四半期は貸借対照表のみを連結し損益計算書は連結していないため、個別数値を記載しております。

注3. 2021年3月期第3四半期は連結数値を記載しております。

本資料の無断転載・複写を禁じます

Copyright MINKABU THE INFONOID, Inc.

activities - media traffic

ユニークユーザー数、訪問ユーザー数とも堅調に伸長



- 月間平均UU数（4月～12月累計）は、前年比21.5%増の864万人と堅調に伸長
- 「株探プレミアム」は、順調に成長を継続。個人の資産形成をサポートする「MINKABU ASSET PLANNER」（旧名称案：みんかぶプレミアム、詳細は後述）の投入と合わせ、広告中心のモデルからサブスクモデルへの移行を加速

activities - by type of revenue

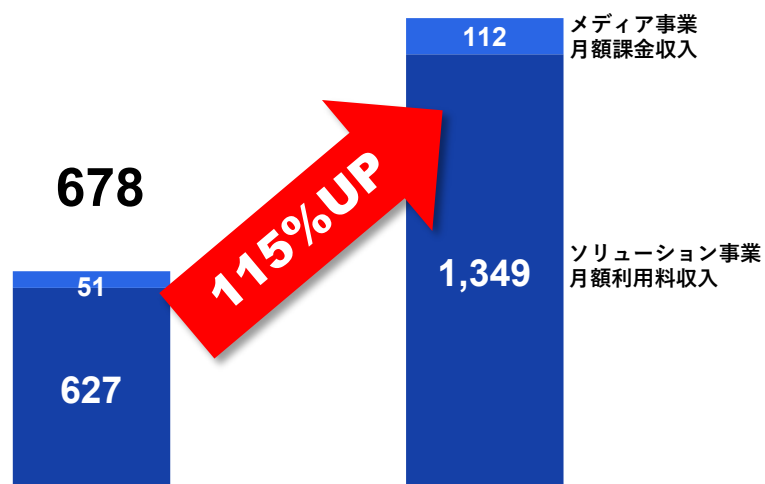
サブスクリプション*収入が順調に拡大

*メディア事業の月額課金収入＋ソリューション事業の月額利用料収入

サブスク売上は前年比 **2倍超**

(百万円)

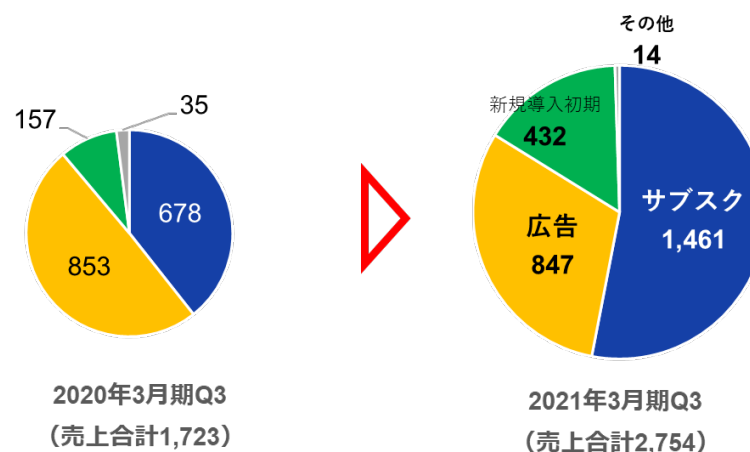
1,461



2020年3月期Q3

2021年3月期Q3

サブスク比率は**50%超**



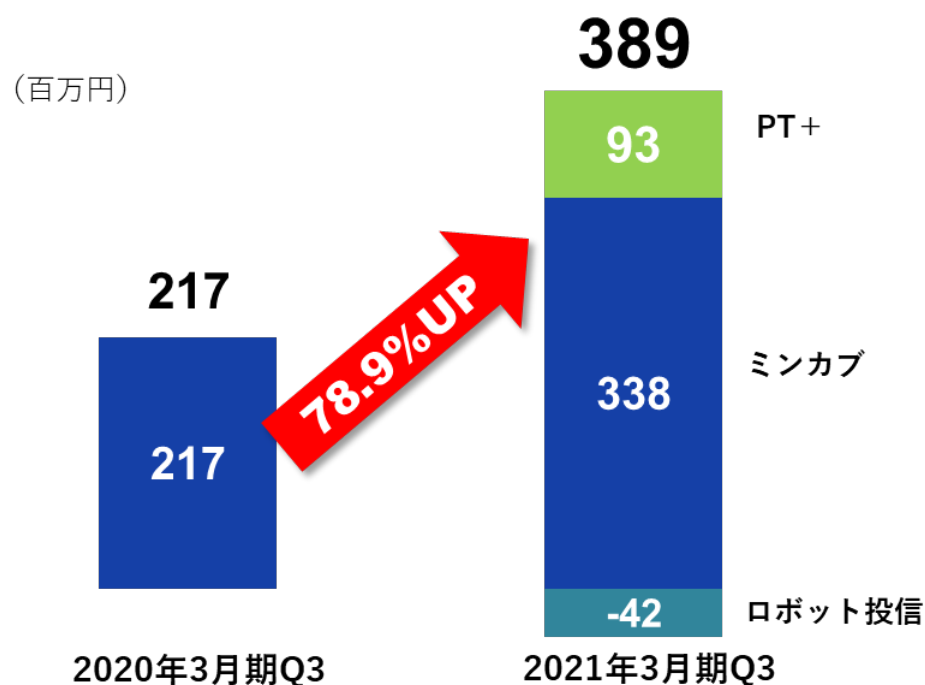
注1. 2020年3月期第3四半期末にProp Tech plus(株)を連結子会社化しておりますが、当該第3四半期は貸借対照表のみを連結し損益計算書は連結していないため、個別数値を記載しております。

注2. 百万円未満四捨五入。

activities - by company

自律的成長に加え、M&A後の連結子会社が計画どおり進捗

会社別営業利益



- ミンカブ本体は、新型コロナの影響の長期化からメディア事業で広告収入が引き続き不安定なもの、課金収入及びソリューション事業の伸長により成長を持続
- 2019年末に子会社化したPT+は、大幅な増益計画に沿って順調に収益が改善。通期計画である、のれん償却後の連結営業利益寄与1億円（単体営業利益2億円、前期実績80百万円）達成に向け好調に推移
- 2020年6月末に子会社化したロボット投信は、コスト削減やシナジー効果により、子会社化後に収益性が改善し、連結後21年3月までの9ヶ月累積での単体黒字化（前通期営業損益約4億円の損失）に目処

注. 2020年3月期第3四半期末にProp Tech plus(株)を連結子会社化しておりますが、当該第3四半期は貸借対照表のみを連結し損益計算書は連結していないため、個別数値を記載しております。連結調整は100万円未満のため省略。各子会社はのれん、顧客資産等の償却控除後利益

activities - investment & business tie-ups

複数のマイノリティ出資を実行、
シナジー効果により第4四半期以降の収益貢献へ

MEDIA

テコテック株式会社
(第2四半期実施)



ノウハウ x 技術

資産管理ツールを共同で開発
モニター版『みんかぶTradeWell』に実装

SOLUTION

AlpacaJapan株式会社
(第2四半期実施)



Alpaca AI x ミンカブBIG DATA

複数の金融情報ソリューションを開発
ミンカブ顧客へのアップセルに

X

SOLUTION

NEW

クリプタクト株式会社
(第3四半期実施)



クリプタクトメディア x ミンカブBIG DATA

クリプタクトへのデータ提供・メディア連携
を予定

NEW

ALTERNATIVE

イチニ株式会社
(第3四半期実施)



イチニ選挙情報DB x ミンカブAI

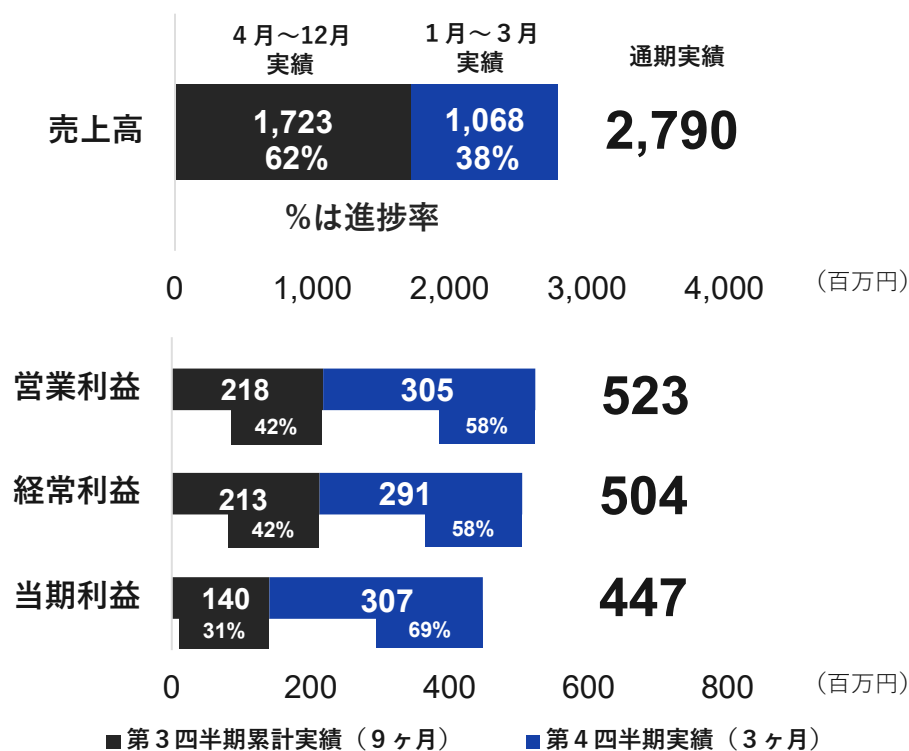
AIによる選挙情報の自動生成ソリューション
の開発に着手



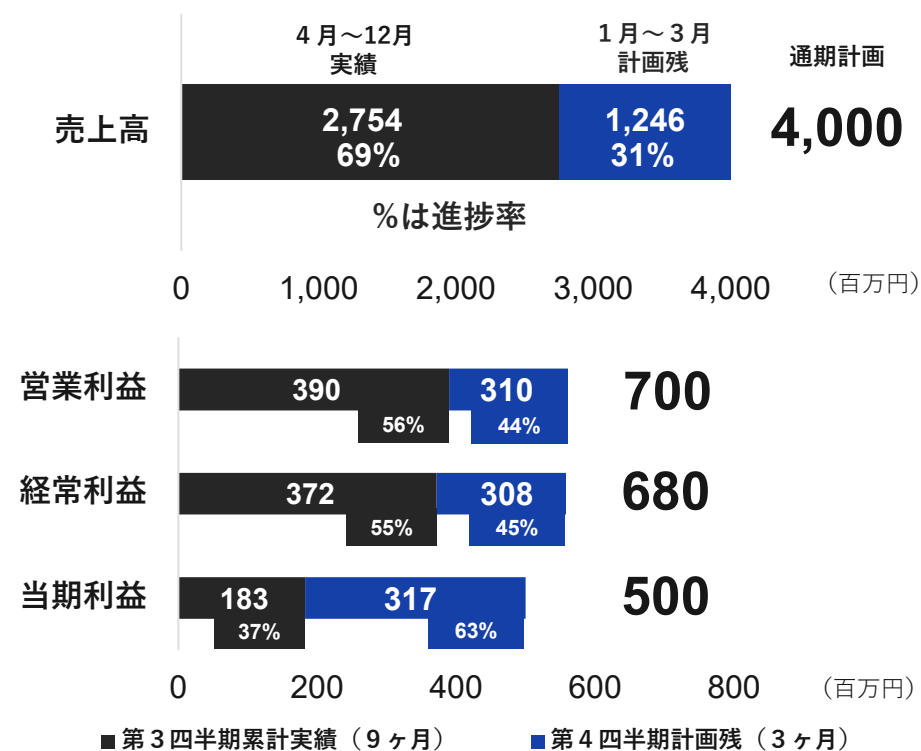
activities - achievement

当期も過年度同様に第4四半期偏重計画
第3四半期終了時点では通期計画の達成に向けて順調に進捗

前期：2020年3月期（実績）



当期：2021年3月期（実績 + 計画残）



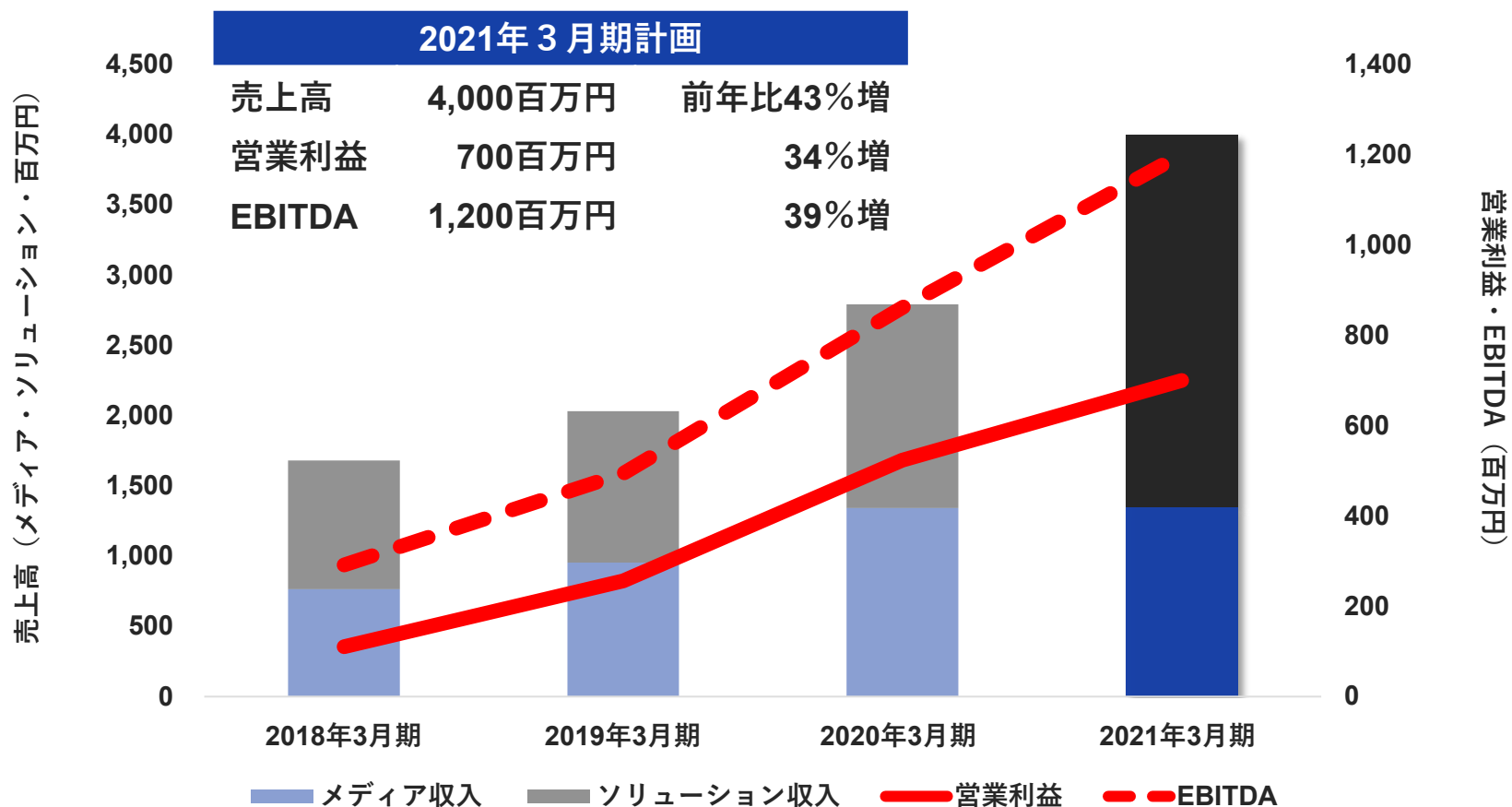
注. 百万円未満四捨五入。

本資料の無断転載・複写を禁じます
Copyright MINKABU THE INFONOID, Inc.

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第3四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	17
04	APPENDIX	・・・	41

forecast

第3四半期まで順調に計画に進捗



- 注1. 2018年3月期（連結）は未監査数値であります。
 注2. 2019年3月期は連結子会社を有していません。
 注3. 2021年3月期計画にロボット投信株の寄与は含まれていません。

Q4-topics

Solution-Financial Information

QUICKとの第1弾共同サービスの開発着手 及び総合証券・銀行・運用会社向け展開が加速

QUICK連携 第1弾共同サービス開発

QUICKが展開する業界水準の証券・銀行リテール向けサービスにロボット投信のソリューションを搭載する開発が進行中

- ・ MINKABU FUND ANALYTICS
メガバンク向けリリース（21年4月予定）を行い、QUICKサービス導入銀行や証券会社へマーケティングを展開

- ・ MINKABU ROBOT REPORT
証券・銀行のリテールチャンネルと運用会社を繋ぐネットワークサービスを両社で開発中。運用会社の商品の訴求ポイントをタイムリーに配信する手段のDX化を推進。2021年4月にサービス開始予定

総合証券・銀行・運用会社向け ソリューション展開

ネット証券を中心に展開してきたソリューションの総合証券・銀行・運用会社向け拡販が加速

対面チャンネルを中心にリテール事業を展開してきた大手・準大手総合証券、銀行、運用会社において、資産形成層の獲得や非対面チャンネル対応が重点課題となり、当社ソリューションへの需要が高まる

総合証券・銀行向けの非対面チャンネル向けソリューションの拡販を行いつつ、運用会社を中心に業務DX化推進ソリューションを積極展開する

Q4-topics

Solution-Alternative Business

オルタナティブ事業（非金融分野向け事業）が本格化



プロ野球球団等に
肩入れ戦評・試合中
戦評を販売開始



当社技術資産を活用した
新ビジネスを準備中



当社技術・ノウハウ資産

- ✓ BIG DATA活用ノウハウ
- ✓ メディア運営ノウハウ
- ✓ AI ENGINEの開発力
- ✓ サブスクモデルの構築力



速報性の高いAI選挙記事による
メディアの価値向上

メディア価値の向上に伴う
サブスク会員の増加

継続した成長の実現に向け主流の金融情報分野以外の
事業領域でも当社の技術・ノウハウ資産の活用を本格化

Q4-topics

Media

2021年6月22日に「Kabutan（株探）米国株」の提供開始

日本の個人投資家に米国株式市場へ投資するための判断材料となる情報を提供することを目的に、当社が蓄積してきたデータ分析、重要性の判定、コンテンツ自動生成のAI技術を用いた、「Kabutan（株探）米国株」のサービスを2021年6月22日より開始する



サービス開発は段階的に行われる為、順次開発が完了したものから商用化。米国株版も既存の日本株版同様に、無料プランに加え、有料プラン「Kabutan（株探）米国株Premium」を展開。有料プランでは、日本株版の有料プラン「Kabutan（株探）Premium」と同様に、より速報性を高めたコンテンツや過去データ等の充実等を図り、日本株の有料プランと同様のリッチコンテンツ化を予定

Q4-topics

Media

米国株版の投入と同時に日本株版も価格改定、バンドリングプランも追加

サービス	月額料金	
	現在	新 (6/22~)
米国株版 		2,480円 (税込)
日本株版 	2,178円 (税込) 税抜1,980円	2,480円 (税込)
日米バンドリング  		3,980円 (税込)

「Kabutan (株探) 米国株」のサービス開始と同時に、サービス開始以降、大きく機能が充実した日本株版の有料プランの価格改定を実施し、更なる機能拡充を図る

また、米国株版と日本株版のバンドリングプランも導入し、日本株版と米国株版の両方を利用するユーザーには実質値下げとなる価格を実現

Q4-topics

Media

約400万人の月間UU数を有する日本株版で提供中のコンテンツを米国株版に順次実装予定

2021年6月22日に提供開始予定コンテンツ

- ・ 個別銘柄ページ
- ・ 株価注意報
- ・ 銘柄探検
- ・ ニュース
- ・ 適時開示情報

2021年夏以降に提供開始予定コンテンツ

- ・ 大株主情報
- ・ 投資テーマ情報



Q4-topics

Media

【参考】提供コンテンツ例①：個別銘柄決算情報

	日本株版 (既存)	米国株版 Phase 1 (2021年6月)	米国株版 Phase 2 (順次)	米国株版 Phase 3 (順次)
通期	25期	4期	25期	25期
通期業績予想	修正履歴5期	—	—	独自予想検討
成長性	25期	4期	25期	25期
収益性	25期	4期	25期	25期
通期過去最高	○	—	—	○
下期業績	3期	—	—	—
四半期累計	3期	—	3期	3期
3ヵ月決算	20四半期	20四半期	20四半期	20四半期
3ヵ月決算過去最高	○	—	—	○
財務	20期	4期	20期	20期
キャッシュフロー	25期	4期	25期	25期
配当	25期	4期	25期	25期

トップ > AAPLE(APPL) > 決算

APPLE(APPL) 決算

AAPLAPPLE NASDAQ 16.00 業績 ▲ PER PBR 利回り
 ★ \$139.07 前日比 +2.20 (+1.61%) 情報: 通信業 42.57倍 36.55倍 0.59%

比較される銘柄 GOOG MSFT AMZN 時価総額 2兆3396億ドル

基本情報 チャート 時系列 ニュース 決算

過去最高【実績】 半期【予想】 現金収支【実績】 四半期累計【実績】 財務【実績】 TOPへ

今期の業績予想

通期	業績推移	修正履歴	成長性	収益性	1Q	2Q	3Q	4Q
決算期	売上高	営業益	税前益	最終益	修正1株配	1株配		
US 2017-09	229,234	61,344	64,089	48,351	2.3	0.63		
US 2018-09	265,595	70,898	72,903	59,531	2.98	0.73		
US 2019-09	260,174	63,930	65,737	55,256	2.97	0.77		
US 2020-09	274,515	66,288	67,091	57,411	3.28	0.81		
前期比	+43.4	+33.8	+34.9	+11.9	+5.2	(%)		

は過去最高 ※最新予想と前期実績との比較、予想値「-」は会社側が未発表。

キャッシュフロー(CF=現金収支)推移

通期	決算期	営業益	フリーCF	営業CF	投資CF	財務CF
US 2018-09	70,898	93,500	77,434	16,066	-87,876	
US 2019-09	63,930	115,287	69,391	45,896	-90,976	
US 2020-09	66,288	76,385	80,674	-4,289	-66,820	

業績・財務推移【実績】

3ヵ月決算【実績】	業績推移	成長性	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
決算期	売上高	営業益	経常益	最終益	修正1株配	売上営業損益率	
US 2018.10-12	84,310	23,346	23,906	19,965	4.18	0.18	
US 2019.01-03	58,015	13,415	13,793	11,561	6.66	0.19	
US 2019.04-06	53,809	11,544	11,911	10,044	8.86	0.19	
US 2019.07-09	64,040	15,625	16,127	13,686	11.89	0.19	
US 2019.10-12	91,819	25,569	25,918	22,236	4.99	0.19	
US 2020.01-03	58,313	12,853	13,135	11,249	7.56	0.21	
US 2020.04-06	59,685	13,091	13,137	11,253	10.16	0.21	
US 2020.07-09	64,698	14,775	14,901	12,673	3.28	0.21	
前年同期比	+57.2	+37.7	+36.9	-5.9	-11.3	(%)	

Q4-topics

Media

【参考】提供コンテンツ例②：株価注意報

	日本株版 (既存)	米国株版 Phase 1 (2021年6月)	米国株版 Phase 2 (順次)
本日の活況銘柄	約定回数を 用いた算出	出来高 ランキング	出来高 ランキング
本日の株価上昇率・下落率ランキング	○	○	○
本日のストップ高・安銘柄	○	—	—
本日、年初来高値・安値を更新した銘柄	○	52週高安に変更	52週高安に変更
日経平均の寄与度ランキング	○	米3指数の 寄与度	米3指数の 寄与度
東証1部【業種別】騰落ランキング	○	米業種分類	米業種分類
動意株ニュース	○	—	○
【市場速報】株価にインパクトがある開示情報	○	—	○
【朝刊】ニュース銘柄の株価動向	○	—	○
取引時間中に決算発表・業績予想を修正した銘柄	○	—	○
決算発表予定銘柄	○	—	○
ゴールデンクロス・デッドクロス	○	○	○
25日線上抜け・下抜け	○	○	○

本日の米国株価上昇率ランキング

2021年01月28日 16:00現在 1415銘柄

ティッカー	銘柄名	株価	前日比	出来高	PER
AMC	AMC Entertainment Holdings, Inc.	19.9	+14.94 +301.21%	1,253,000,000	-
AAGH	America Great Health	0.6	+0.36 +150%	3,326,000	-
GME	GameStop Corp.	347.51	+199.53 +134.84%	91,713,000	-
SRNE	Sorrento Therapeutics, Inc.	15.23	+4.81 +46.16%	108,794,000	-
BBBY	Bed Bath & Beyond Inc.	52.89	+16.02 +43.45%	90,317,000	-
NOKBF	Nokia Corporation	6.81	+1.98 +40.99%	16,532,000	-
FIZZ	National Beverage Corp.	181.51	+52.02 +40.17%	4,736,000	52.61
NOK	Nokia Corporation	6.55	+1.82 +88.48%	1,124,000,000	-
GSX	GSX Techedu Inc.	142.7	+37.76 +85.98%	32,692,000	-
RIG	Transocean Ltd.	3.73	+0.95 +84.17%	139,771,000	-
BB	BlackBerry Limited	25.1	+6.18 +82.66%	364,978,000	-
IRBT	iRobot Corporation	161.16	+34.76 +27.5%	7,411,000	29.92
LOCTF	L'Occitane International S.A.	3.09	+0.573 +22.77%	24,925	-
BLG	Big Lots, Inc.	65.05	+10.78 +19.86%	4,308,000	4.1
SMNLF	PT Sarana Menara Nusantara Tbk.	0.08	+0.013 +19.4%	30,605	26.67
INO	Inovia Pharmaceuticals, Inc.	12.5	+1.92 +18.15%	49,271,000	-
WHGRF	WH Group Limited	0.87	+0.13 +17.57%	44,683	10.61
WISH	ContextLogic Inc.	29.99	+4.34 +16.92%	8,895,000	-
CITAF	COSCO SHIPPING Development Co., Ltd.	0.22	+0.03 +15.79%	30,000	-
CVDY	CytoDyn Inc.	5.38	+0.72 +15.45%	9,715,000	-
MAC	The Macerich Company	22.38	+2.92 +15.01%	58,325,000	-
WB	Weibo Corporation	50.38	+6.27 +14.21%	6,320,000	31.04
SHAK	Shake Shack Inc.	125	+15.29 +13.94%	4,443,000	-
FLGT	Fulgent Genetics, Inc.	85.86	+10.25 +13.56%	2,561,000	40.12
DDD	3D Systems Corporation	42.23	+5.04 +13.55%	11,953,000	-

Q4-topics

Media

【参考】提供コンテンツ例③：銘柄探検・ファンダメンタルズ

日本株版 (既存)

【第1四半期】時点 中間期上振れ有望銘柄

【第1四半期】時点 通期上振れ有望銘柄

【中間期】時点 通期上振れ有望銘柄

【第3四半期】時点 通期上振れ有望銘柄

最高益を見込む【増益率】ベスト100

【連続最高益】銘柄リスト

最高益“大復活”銘柄リスト

【営業増益率】ベスト100

【強固な収益基盤】銘柄リスト

今期【高ROE】ベスト100

【経営効率化が続く】銘柄リスト

米国株版 Phase1 (2021年5月～)

直近四半期増収率ランキング

直近四半期営業増益率ランキング

直近四半期最終増益率ランキング

直近高ROEランキング

直近増配率ランキング

過去3年平均増収率ランキング

過去3年平均営業増益率ランキング

過去3年平均最終増益率ランキング

過去3年平均増配率ランキング

米国株版 Phase2追加分 (順次)

連続四半期増収期数ランキング

連続四半期営業増益期数ランキング

連続四半期最終増益期数ランキング

連続増配期数ランキング

Q4-topics

Media

【参考】提供コンテンツ例④：投資テーマ情報（2021年夏～）

米株人気テーマ【ベスト30】		(アクセスランキング 3日間)
2021年01月28日 23時24分		
1	半導体	NVDA, INTC, AMD
2	再生可能エネルギー	AEP, OPTT, SO
3	GAFA	GOOG, APPL, AMZN
4	電気自動車関連	TSLA, NKL, NIO
5	半導体製造装置	TSM, ASML, AMAT
6	水素	ACRS, APTV, WMB
7	パワー半導体	ACMR, NXPL, ON
8	2020年のIPO	DASH, BABA, U
9	イスラエル関連	FROS, AROT, INMD
10	5G	T, QCOM, VZ
11	人工知能	GOOG, NVDA, AMZN
12	風力発電	GE, BMEN, NEE
13	デジタルトランスフォーメーション	EPAM, VMW, ACN
14	電子部品	IVL, IPGR, MTSO
15	コンデンサー	
16	新型コロナウイルス	
17	水晶振動子	
18	アニメ	
19	半導体部材・部品	
20	旅行	
21	アメリカンフットボール	
22	ドローン	
23	医薬品	
24	サイバーセキュリティ	
25	テレワーク	
26	レアアース	
27	水素ステーション	
28	蓄電池	
29	医療保険	
30	電力会社	

FAANG							
米国の大手IT企業を指す言葉で、「ファンク」と呼ばれる。フェイスブック、アマゾンドットコム、アップル、ネットフリックス、グーグル(親会社はアルファベット)の頭文字を取った総称。米株式市場の時価総額上位を占め、上昇相場の牽引役を果たしてきた。アップルを除き「FANG」とする場合もある。各分野で圧倒的な競争力を持ち、そのWebサービスや商品を使い第三者による広告やコンテンツ販売などが活発に行われていることから「プラットフォーム」とも称されている。また、グーグルとアップル、フェイスブック、アマゾンの4社を「GAFA(ガーファ)」、あるいはマイクロソフト、アップル、エヌビディア、テスラを「MANT(マント)」と呼ぶこともある。							
2021年01月28日 16:00現在 5銘柄							
コード	銘柄名	株価	前日比	ニュース	PER	利回り	
AAPL	APPLE	138.47	+3.59 +2.53%	NEWS	38.41	0.58	
AMZN	Amazon.com Inc.	1,833	3207.58 0.00%	NEWS	94.67	—	
GOOG	Alphabet Inc. C	1,816.88	-13.91 -0.76%	NEWS	36.56	—	
FB	Facebook Inc. A	271.96	-0.18 -0.07%	NEWS	26.94	—	
NFLX	Netflix Inc.	527.43	-4.15 -0.78%	NEWS	86.07	—	

※PER欄において、黒色「-」は今期予想の最終利益が非開示、赤色「-」は今期予想が最終赤字もしくは損益トントンであることを示しています。

	日本株版 (既存)	米国株版 (新規)
取扱テーマ数	1,462	350

※米国版のテーマ数は提供開始時の想定値

- 米国株版においても日本株版と同様の投資テーマ情報を提供
- サービス開始時の取扱テーマ数は350程度を想定
- 日米共通のテーマについては、日本株版⇄米国株版間の導線を用意し、日本株の投資家に米国株の存在に気づく仕組みを構築する

Q4-topics

Media

資産形成情報メディアへ進化する「統合」と「リブランド」を実施

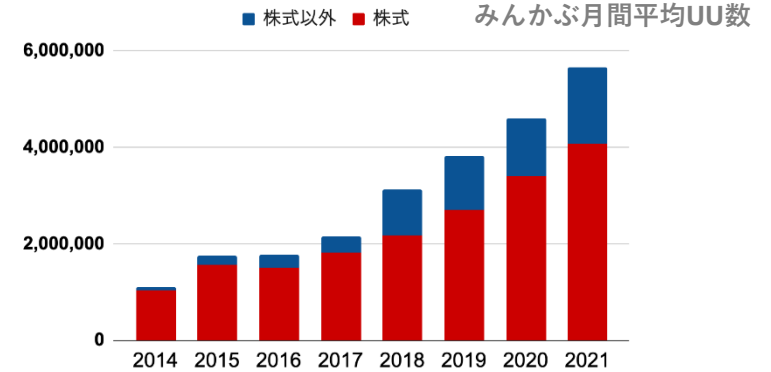
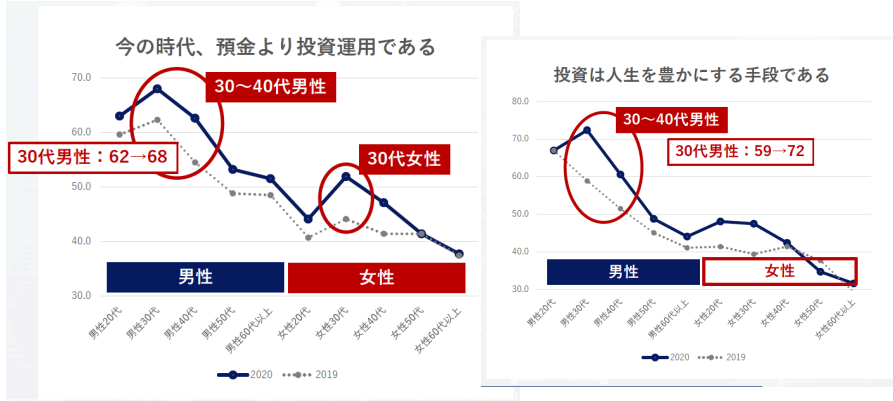


サービス開始から15年目に入る、2021年4月25日
500万人の月間UU数を有する「みんなの株式」等のみんなの株式シリーズメディアは統合し、
資産形成層に向けた情報メディア「**MINKABU**」へ進化

Q4-topics

Media

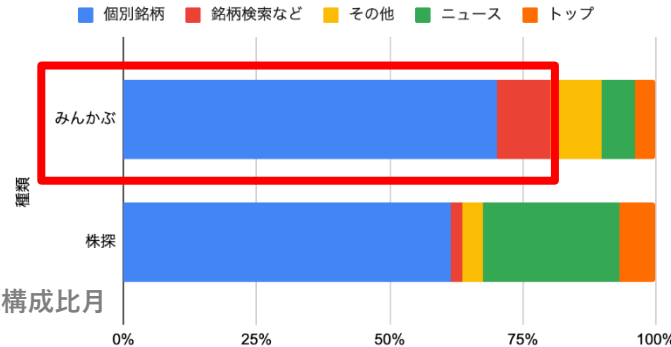
リブランドの背景には高い成長ポテンシャルと課題の解決がある



背景①金融庁が2019年6月に公表した「高齢社会における資産形成・管理」が話題（通称：2,000万円問題）になって以降、30代を中心に資産形成に対する関心は急速に高まりつつあるものの、それに対応する明確なメディアは存在しない。その中で月間約500万人のユーザーを有し、網羅的に金融情報を提供可能なみんなぶシリーズメディアはその有力な候補となり得る

背景②利用者の7割超は株式に関する情報を目的としている一方、株式以外の金融商品は運用者人口に依存して特定ユーザー層しか獲得できず、スケールが困難なことから特定金融商品をアピールするよりも分散投資をアピールするほうがアクセスを増やしやす

*統計データ出典：ADK「金融総合調査2020」



みんなぶ・株探
コンテンツ別PV数構成比月

背景③「みんなの株式」のアクセスの8割が個別銘柄に関する情報に集中しており、且つ、その殆どが検索エンジンやブックマークから直接目的のページに流入している状況。結果、資産形成層までターゲットを広げる目的で上位レイヤのページ構成を変更しても既存のアクセスを毀損せず、プラス効果が期待できる

Q4-topics

Media

リブランドによりターゲット市場を大幅に拡大



*証券保管振替機構「個人株主数」 **総務省統計局「人口推移」20代以上合計値

サービス統合とリブランドを通じ、「儲けること」を主眼に置いた投資家層だけでなく、「（資産を）増やすこと」が必要な20代以上の人口全体（＝資産形成層）までをターゲットに広げる

Q4-topics

media

メディアを2つのブランドに集約し
より効率的なマーケティングを実施



株式専門情報メディアとして
投資家層への株式情報を深掘り

みんなの資産形成を支える

MINKABU



資産形成情報メディアとして
より幅広い層をターゲットに

Q4-topics

Media

資産形成層に向けた3つの「MINKABU」を展開し ビジネスモデルとキャッシュポイントを拡充

サービス名	収益モデル	ターゲット層	概要
	広告型 (既存)	自ら情報を集めて 運用する層	メディアから情報を収集し、 自分で運用するユーザーに向け、 既存の情報の品質は維持しつつ、 資産形成に関する情報を追加
 <small>旧名称案：みんかぶプレミアム</small>	サブスクリプション型 (新設：4月25日)	ツールを活用して 効率的に運用する層	資産状況をモニターするツール。 AIによる運用最適化サジェスト 機能や運用状況をレポートする コンシェルジュ機能を提供
	フィー型・ コミッション型 (新設：順次展開)	プロに任せて 運用する層	プロが資産を預かり運用するIFA サービス

景気や市場環境に影響を受けにくい会員獲得や預り資産に応じて
固定収入が得られる収益源を追加することでメディア事業の安定成長を実現する

Q4-topics

Media

MINKABU ASSET PLANNER：資産形成支援ツール 資産形成状況を把握するためのデファクトツールを目指す

サービス名	月額料金	機能
<p>MINKABU ASSET PLANNER</p> <p>旧名称案：みんかぶプレミアム</p>	<p>990円 (税込)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アグリゲーター*：口座一括管理機能 ・ AIアドバイザー：運用資産最適化サジェスト機能 ・ ペルソナチャート**：ベンチマークとの比較機能 ・ コンシェルジュ*：資産形成状況レポート機能 ・ マガジン：資産形成トレンド情報

*「みんかぶTradeWell」としてモニター提供中。「アグリゲーター」と「コンシェルジュ」は、一部機能（SBI証券接続及び「定期報」の簡易レポート等）を無料版（お試し版）として提供します。詳細は後述参照。

**2022年の提供開始を予定。

2021年4月25日にブラウザ版サービスを開始し、年内にアプリ版も提供開始予定

Q4-topics

Media

ASSET PLANNER：アグリゲーター 複数の金融機関の口座を一括管理



SBI証券

au カブコム証券
A member of MUFG

松井証券

Rakuten 楽天証券

⋮

⋮

⋮

対応金融機関を順次拡大

一括管理



※画面イメージは開発中のもので変更される可能性があります

- SBI証券への接続は無料版で提供。SBI以外の金融機関の追加は有料版で提供
- 年内には外部APIと連携し、資産状況を把握するために必要な情報の網羅性を高める
- 現在「みんかぶTradeWell」としてモニター提供中。初回、モニター（500名）は募集開始後、瞬時に定員に達しており、2月2日に追加募集開始（+1,500名）
- モニター版から順次、対応金融機関と機能の拡充を進める

Q4-topics

Media

ASSET PLANNER：ペルソナチャート 自己の運用状況とトレンドの乖離をビジュアルで確認



※画面イメージは開発中のもので変更される可能性があります

- 「MINKABU ASSET PLANNER」内の統計データを活用し、同様のペルソナ（例：同世代・既婚/未婚）とのベンチマーク（平均値）との比較で自己の運用状況に見劣りがないかを確認できる機能
- 例えば、同じ30代の妻帯者との比較において、現金比率は高めか？
運用に回してる額は少なくないか？
ポートフォリオはリスク過多になっていないか？
等を把握することができ、将来に向けた自己の運用をトレンドと比較することで気づきを得たり、安心感を得たりすることが可能となる
- 本機能は、ユーザー数の増加に伴って有効性が生じるものとなるため、2022年の提供開始を予定

Q4-topics

Media

ASSET PLANNER：コンシェルジュ AIが日々の運用状況を監視し、タイムリーにレポート



- AIが日々の運用状況を監視し、個別にレポート
- 「定期報」（日報・週報・月報等）の簡易レポートを無料版で提供し、「定期報」の詳細レポートと「速報」は有料版で提供
- 「速報」では、①「AIアドバイザー」で設定した目標の達成に影響を及ぼすリスクのある材料発生時や価格の急騰急落時に、②「ペルソナチャート」でトレンドと乖離が発生した際等にユーザーに通知
- AIが数ある材料の中から選別して通知することで、能動的にニュースや株価等を確認せず、必要な情報を取得することが可能に
- 2021年3月に一部機能を「みんなぶTradeWell」のモニター版として提供開始予定

※画面イメージは開発中のもので変更される可能性があります

Q4-topics

Media

ASSET PLANNER：マガジン 資産形成のトレンドや初心者向けの情報を動画やコラム形式で提供

金融商品
トレンド

財務諸表の
見方

金融商品の
取引方法

ライフプラン
の立て方

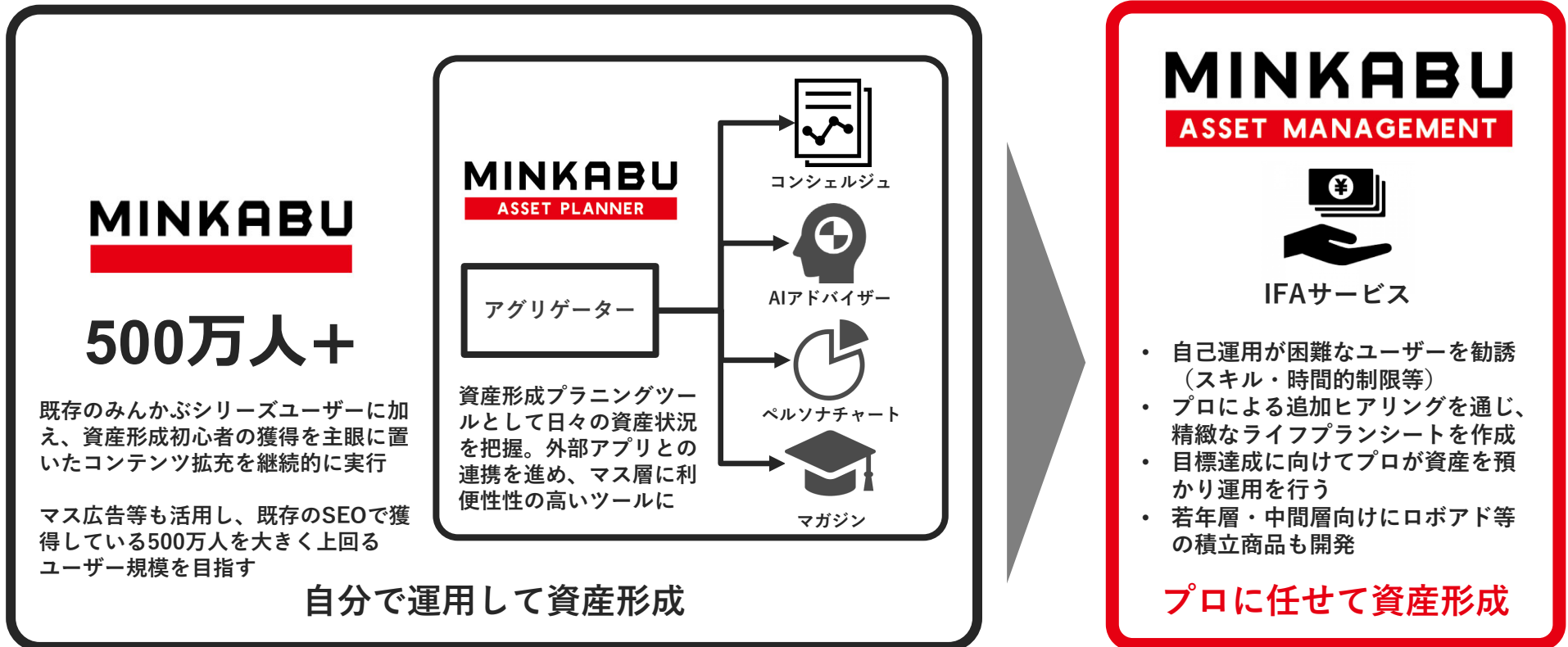
経済ニュース

節税

Q4-topics

Media

ASSET MANAGEMENT：プロによる資産形成支援 実現に向けてIFA業者との業務提携・資本参加も含めて幅広く検討



新たな収益源の確保に加え、約400社に上る顧客金融機関との新たな形式の関係を構築する

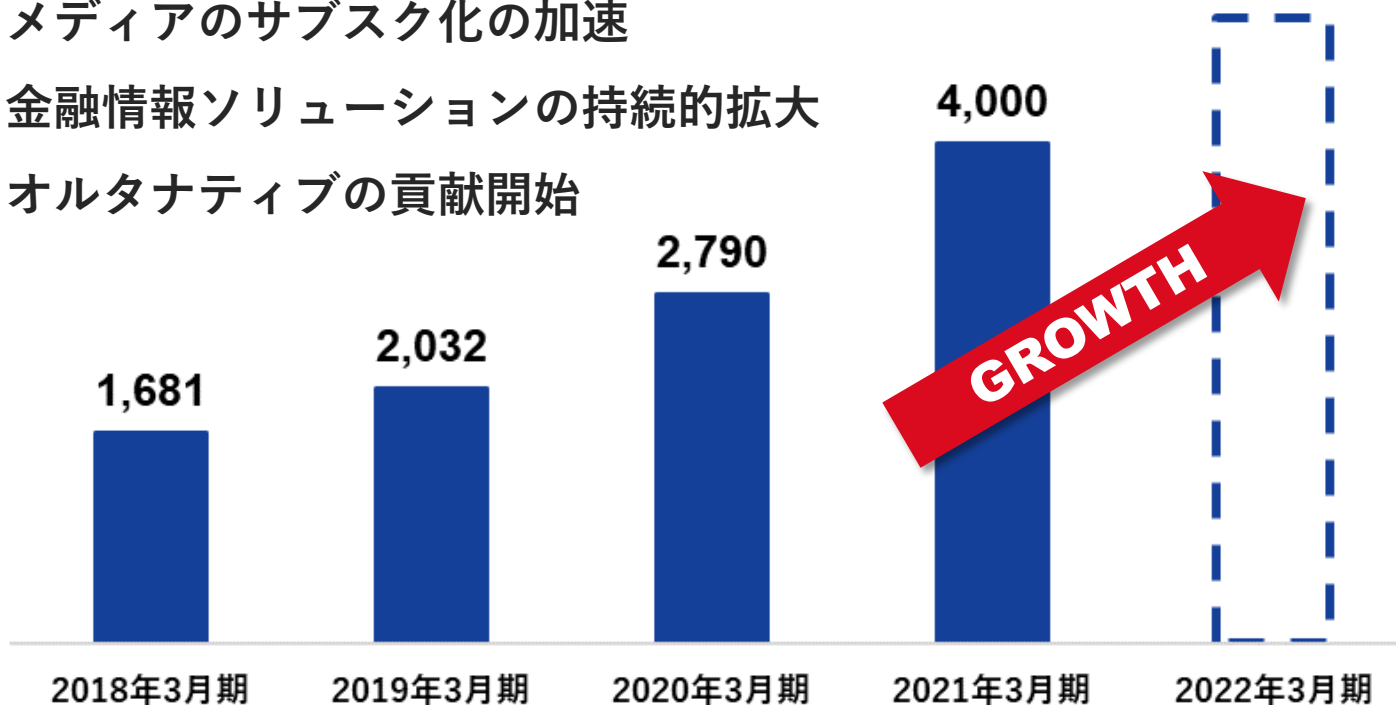
Q4-topics

2022年3月期の持続的な成長への準備が順調に進捗

2022年3月期のキードライバー

(百万円)

- ✓ メディアのサブスク化の加速
- ✓ 金融情報ソリューションの持続的拡大
- ✓ オルタナティブの貢献開始



注1. 2018年3月期（連結）は未監査数値であります。

注2. 2019年3月期は連結子会社を有していません。

注3. 2021年3月期は計画値を記載しております。なお、計画値には、ロボット投信株の寄与は含まれておりません。

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第3四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	17
04	APPENDIX	・・・	41

income statement

(単位：百万円 / %)

	2019年3月期	2020年3月期		2021年3月期 計画		2020年3月期 Q3	2021年3月期 Q3	
	(単体)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
売上高	2,032	2,790	+37.3%	4,000	+43.3%	1,723	2,754	+59.8%
メディア	953	1,351	+41.7%	1,351	—	939	982	+4.5%
ソリューション	1,078	1,449	+34.3%	2,648	+82.8%	783	1,780	+127.3%
調整額 ※1	—	△ 9	—	—	—	—	△ 8	—
営業利益	256	523	+103.7%	700	+33.8%	217	389	+78.9%
メディア	294	545	+85.3%	545	—	348	332	△4.4%
ソリューション	340	409	+20.2%	654	+59.7%	186	417	+123.6%
調整額 ※2	△ 378	△ 432	—	△ 500	—	△ 316	△ 360	—
経常利益	208	504	+141.9%	680	+34.9%	212	371	+74.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	253	447	+76.8%	500	+11.7%	140	182	+30.1%
EBITDA ※3	494	861	+74.3%	1,200	+39.3%	442	759	+71.4%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※5 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※6 百万円未満切り捨て

balance sheet items

(単位：百万円 / %)

	2019年3月末	2020年3月末	2020年12月末	
	(単体)	(連結)	(連結)	前期末比
流動資産	2,395	2,717	2,310	△15.0%
うち 現金及び預金	2,045	2,063	1,656	△19.8%
固定資産	1,530	3,149	3,791	+20.4%
資産合計	3,926	5,866	6,101	+4.0%
流動負債	958	768	740	△3.7%
固定負債	281	1,327	1,542	+16.2%
負債合計	1,239	2,096	2,282	+8.9%
資本金	1,558	1,742	1,757	+0.8%
資本剰余金	3,581	3,766	3,560	△5.5%
利益剰余金	△ 2,453	△ 2,005	△ 1,823	-
その他	0	10	42	+312.4%
非支配株主持分	-	256	280	+9.6%
純資産合計	2,686	3,770	3,818	+1.3%

※1 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※2 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※3 百万円未満切り捨て

sales by segment

(単位：百万円 / %)

	2019年3月期	2020年3月期		2021年3月期 計画		2020年3月期 Q3	2021年3月期 Q3	
	(単体)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
メディア事業	953	1,351	+41.7%	1,351	-	939	982	+4.5%
広告収入	862	1,235	+43.3%	1,235	-	852	846	△0.7%
課金収入	50	75	+47.2%	115	+53.7%	51	111	+117.5%
その他	40	40	△0.1%	-	-	35	23	△34.1%
ソリューション事業	1,078	1,449	+34.3%	2,648	+82.8%	783	1,780	+127.3%
ストック収入	782	1,032	+32.1%	2,000	+93.6%	626	1,348	+115.2%
初期・一時売上	296	416	+40.1%	648	+55.9%	156	432	+175.3%
調整額 ※1	-	△9	-	-	-	-	△8	-
合計	2,032	2,790	+37.3%	4,000	+43.3%	1,723	2,754	+59.8%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※3 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※4 百万円未満切り捨て

fixed expenses

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 計画		2020年3月期 Q3	2021年3月期 Q3	
	(単体)	(連結)	(連結)	増減	(連結)	(連結)	増減
単体	899	1,123	1,317	194	828	902	73
人件費	577	645	732	87	485	494	9
オフィス・インフラ・租税公課等	84	166	192	26	118	132	14
減価償却費（原価+販管費）	196	271	352	80	194	243	49
減価償却費（M&A関連償却費）	40	40	40	-	30	30	-
連結子会社	-	247	996	749	-	697	697
減価償却費	-	6	32	26	-	24	24
減価償却費（M&A関連償却費）	-	19	76	57	-	70	70
その他固定費	-	221	887	665	-	602	602
連結合計	899	1,370	2,314	943	828	1,599	770

※1 人件費は、給与（法定福利費含む）、雑給、退職給付費用、福利厚生費、採用手数料、旅費交通費（通勤手当含む）の合計

※2 減価償却費（M&A関連償却費）は、のれん、顧客関連資産、技術資産の償却合計

※3 2021年3月期連結計画にロボット投信の業績は含めておりません。

※4 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※5 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。ロボット投信の費用は第2四半期（7～9月）から連結子会社へ含めております。



MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになることは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。